

建設委員会6,7月

また期限が迫る!

謎の巨大再開発

春日・後樂園駅前地区

■9月末着工予定なのに、権利変換計画合意はようやく50%、懸案の交通計画説明会も、解体説明会も、建築確認申請も、なにもかも検討中。

7月の報告「大型建築物計画概要」は、今回初めて「まちづくり推進連絡調整会議」なるものが開かれたらしく、建築確認申請前の最初で最後の事業者説明があったことの報告のようです。6月の市街地再開発事業の報告に続くこの報告の意図は曖昧で、1度きりの会議で、大型建築物検討分科会、都市計画分科会での要望・回答に重要な示唆があるにも拘らず、その報告はなく、5月に都認可された変更事業計画の概要と思われる数字だけ

が示されても質疑にならないのです。

■しかも新事業計画書が再開発事務所で2日間探しても見当たらないという、ほとんど怪奇現象。巨大開発は地権者にも周辺住民にも多大な影響を与えるため、知らせると議論になり反対も出るから、なるべく知らせたくないのか。しかしそれが敗着、結果としてぐいぐい推進する力も削いでいるのではないかと。さっさと説明し課題を明らかにし解決すれば理解者も増え、まちづくりとして活気も出る。新国立競技場しかり、柳町小学校増築しかり、もめるところは必ず方法論の違いが尾

を引いています。そういえば世田谷に「もめごとのタネはまちづくりのタネ」研究会（もめタネ研）というのがあったっけ。

■というわけで、白山通り西片交差点の上り右折禁止解除のシミュレーション結果、まだかまだかと待ってます！7年前の10月の水曜日の午後、1回きりのデータによるパーソントリップ（人の導線）シミュレーションでは右折禁止解除後の渋滞はわかりません！きちんと検証し、改めるべきは改め、指導責任・説明責任を果たし、人々が喜ぶ再開にしよう！

視察報告 教育センター&b-lab

■4月のオープン前に内覧してから3か月、運営は順調か7月3日に視察しました。3月にはまだがらんとした病院のような冷気も感じましたが、今回は午前中でまだ子どもは少ないながら、給食室(発達支援児対象)やふれあい学級(不登校児対象)は始動していて、新築らしい活気がありました。各地からの視察が相次ぎ、職員は対応に忙しいようです。

■0~18歳までの教育と発達を合わせた総合施設と、療育等発達支援、放課後等デイサービス、不登校小中学生支援を統合した注目の施設です。4,5月は人の移動が間に合わず待ってもらっていたが、今はほぼ100

%対応できているとのこと。発達支援は30人

ほど、ふれあい学級は12~13人、今は発達支援児のみ対象に給食も常時20食程度提供しており、今後はふれあい学級にも配食を考えているそうです。

■併設の青少年プラザb-labでは、運営受託のNPOカタリバや大学生ボランティア、中高生スタッフなどによる自主的な運営が好評のようで、6月は1700人以上、1日50人以上の利用があったということ。中高半々くらい、私立中高生、区外の高校生も多く利用、ただし区立中学はやはり東半分の子たちが多いそうです。帰りたくないふれあい学級の子たちとの交流もあるとか。音楽、演劇、フリーペーパーづくりなどがメインですが、自主プログラムも自習広場マナビ場、料理や手芸のサークルなど展示がにぎやかでした。

■来年から18歳で選挙権、参議院選挙が早速あり、政治への関心が高まっているはずなのに、社会学系のサークルがないのは少し意外でした。巷では大学生・高校生が国会前に多数集まる世情ですが、b-labは原発や安保に関心のある中高生の居場所ではないのか。教育機関は政治的中立などという無言の圧力があるとしたら誠に残念です。



UN Women

(ジェンダー平等と女性の)

エンパワメントのための国連機関)

■日本事務所が区役所1階に8月にもオープンします(観光協会がアンテナショップの場所に移り、そのあとに)。「女性が輝く」などとすり替える国と異なり、区のジェンダー平等にかけると意気込みに期待するところです。文京区は今期女性議員が12人から14人に、女性比率は34%から41%に上がり、23区では目黒区に次いで2位です。この機会にリプロダクティブヘルス/ライツ(産む性としての心身の健康と出産に関する自己決定権)の視点も含む歴史的経緯や、ジェンダー平等の研究をしようと、女性議員11名で「文京区政策研究女性議員連盟」を立ち上げ、勉強会を開きました。


■世界の悲惨な女性差別の状況や日本の現状(寿命と識字率ではトップだが、国会議員、首長、企業や行政の幹部職の女性率では最低レベルで、しかも女性自身が差別状況に気づいていない)を知り、今後事務所開設を好機と捉え、知識を深め提案や発信をしていこうと話しました。

講師は女性教育会館や国連で長年ジェンダー問題に取り組んで来られた十文字中学高等学校長の橋本ヒロ子先生。



区議会 落ち穂ひろい

●前期は「余談ですが・・・」でしたが、余談を言っている場合かということで、今期は区議会の中のこぼれ話を拾います。

生活者ネットのロゴマーク  は、高齢者が背を丸めて子どもに話しかけている図かな、などと勝手に解釈していますが、そういえばミレーの落穂拾いの絵にも似てますね。

●常任委員会は引き続き建設です。今期なんと女性は私1人!視察のことを考えると心細い限り。頑張るっきゃない!

●災害対策調査特別委員会副委員長を拝命しました。区職員の危機管理対応訓練の報告が出ましたが、すぐやるリストの活用や情報共有、発信等に課題が残ります。各委

員からの様々な指摘、区民からの提案等も真摯に受け止め、改善を望みます。防災フェスタは8月30日(日)に教育の森です。訓練はとにかく繰り返し体が覚えるまでやればベストですが、多様な場面を想定し、実感が持てるよう、想像力をかきたてる工夫も必要です。

●マイナンバー制度が10月から始まります。住基ネット制度とは似て非なる、上から目線の権利侵害、知れば知るほど疑問の膨らむ制度です。情報漏えいのセキュリティも整わないまま9月議会に条例提案がされそうです。ご注目ください。

●元町公園・旧元町小学校の活用に関し有識者会議から提言がありました。今後6町会とのテーマ別懇談を経てプロポーザル仕様の叩き台をつくり、地域説明会後に公募要項を作成、来年度事業者を公募し、区民参加で選定という運びです。